

 東北6県「道の駅」事例発表会について

概要

○ 開催日：平成30年5月28日（月）

○ 参加者：約150名

○ 会 場：仙台国際センター

○ 趣 旨

各県を代表する「道の駅」の模範となる取組について「道の駅」設置主体である市町村長が発表。好事例の水平展開を図り東北の「道の駅」全体のレベルアップを図る。

東北「道の駅」連絡会会長名で「東北『道の駅』大賞」及び「各賞」を表彰。

○ 審査員

東北「道の駅」連絡会 会 長 遠野市長 本田 敏秋（審査委員長）

副会長 石巻市長 亀山 紘

副会長 飯豊町長 後藤 幸平

（株）河北新報社 論説委員会 論説委員 古関 良行

（株）JTB東北 東北法人営業仙台支店 支店長 宮林 学

弘前大学大学院地域社会研究科 准教授 平井 太郎

東北地方整備局 道路部長 阿部 悟

○ 発表「道の駅」

県	市町村	道の駅	概 要
青森	中泊町	こどもり	限られた営業時間で地域資源であるメバル、ヤリイカを活かした情報発信、地吹雪体験ツアーのインバウンドなど集客の取組み
岩手	平泉町	平泉	道の駅を拠点とした世界遺産の情報発信、観光客の二次交通充実や地場産品による食育の取組み
宮城	大崎市	あ・ら・伊達 な道の駅	世界農業遺産登録の情報発信、伊達文化を活かしたインバウンド観光、POSシステムを活用したIT産直の取組み
秋田	北秋田市	たかのす	地域文化の伝承「太太鼓の館」を活用したインバウンド観光、「ししとう」など特産品を使った地域振興の取組み
山形	庄内町	しょうない	商品の宅配・農産品の集荷サービスを活用した高齢者の見守り、観光ボランティアによる庄内地域の情報発信の取組み
福島	飯舘村	いいたて村 の道の駅 までい館	原発災害からの帰村者サポートの拠点、村民同士の交流の場所として、花卉をメインとした地域振興の取組み

東北6県「道の駅」事例発表会

会場



表彰式



「道の駅」大賞



原田 真樹
庄内町長

産業振興賞



濱舘 豊光
中泊町長

地域振興賞



津谷 永光
北秋田市長

観光振興賞



青木 幸保
平泉町長

地域振興賞



菅野 典雄
飯舘村長

観光振興賞



高橋 英文
大崎市 副市長